

# 2020年3月期 第2四半期決算概要

株式会社プロトコーポレーション  
2019年10月31日（決算説明会:2019年11月5日）



# 2020年3月期 第2四半期 ハイライト

## ■業績ハイライト（2020年3月期 第2四半期）

売上高	29,845 百万円	－前年同期比	▲2.4%
売上総利益	12,123 百万円	－前年同期比	+4.2%
EBITDA	3,362 百万円	－前年同期比	+15.4%
営業利益	2,719 百万円	－前年同期比	+22.6%
経常利益	2,778 百万円	－前年同期比	+14.7%
四半期純利益	3,178 百万円	－前年同期比	+109.7%

## ■トピックス

- ・売上高：減収（主に物品販売の減収による影響「キングスオートの減収、バイクプロスの不採算事業撤退」）
- ・売上総利益・営業利益：増益（消費税増税前の駆け込み需要の発生に伴い、タイヤ・ホイール販売が堅調に推移。また、中古車・新車・整備領域の収益性改善が進む）
- ・四半期純利益：増益（上記に加え、東京本社移転等に伴う固定資産売却益約18億円を計上）
- ・2019年 7月：DataLine AI査定、DataLine CRMのリリース
- ・2019年10月：PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd.（マレーシア）の清算手続き開始
- ・2019年10月：グーピット スマート予約のリリース（送客課金開始）
- ・2019年10月：バイクメディア（グーバイクの3エリア）・クルマパーツメディア（グーパーツ）において、WEB化を実施（紙媒体の見直し）

# 2020年3月期 第2四半期 連結業績（1）

(単位：百万円)	2018年4-9月		2019年4-9月			
	実績 (a)	売上比	計画 (b)	売上比	実績 (c)	売上比
売上高	30,591	100.0%	29,516	100.0%	29,845	100.0%
売上総利益	11,635	38.0%	11,755	39.8%	12,123	40.6%
EBITDA	2,914	9.5%	2,763	9.4%	3,362	11.3%
営業利益	2,218	7.3%	2,105	7.1%	2,719	9.1%
経常利益	2,422	7.9%	2,114	7.2%	2,778	9.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,515	5.0%	2,600	8.8%	3,178	10.6%
1株当たり四半期純利益（円）	37.79	-	64.83	-	79.20	-

前期対比		計対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
▲746	▲2.4%	329	+1.1%
488	+4.2%	367	+3.1%
447	+15.4%	599	+21.7%
501	+22.6%	614	+29.2%
355	+14.7%	663	+31.4%
1,662	+109.7%	577	+22.2%
41.41	+109.6%	14.37	+22.2%

※2020年3月期の計画値は、2019年7月31日公表の計画値であります。（以下同様）

※EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

※1株当たり四半期純利益については、2019年7月1日を効力発生日とする株式分割（1:2）の影響を考慮しております。

(単位：百万円)	2018年4-9月		2019年4-9月			
	実績 (a)	売上比	計画 (b)	売上比	実績 (c)	売上比
販売費及び一般管理費	9,416	30.8%	9,649	32.7%	9,403	31.5%
人件費	3,951	12.9%	4,069	13.8%	3,839	12.9%
広告宣伝費	2,104	6.9%	2,182	7.4%	2,151	7.2%
その他	3,361	11.0%	3,397	11.5%	3,412	11.4%

前期対比		計対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
▲13	▲0.1%	▲246	▲2.6%
▲111	▲2.8%	▲229	▲5.6%
46	+2.2%	▲31	▲1.5%
50	+1.5%	15	+0.4%

## 売上高

主に、キングスオートの中古車輸出売上（物品販売）の減収、バイクブロスの事業撤退（物品販売・広告関連）による影響により減収となった

## 営業利益

主にプロトコーポレーションの広告関連、情報・サービスが堅調に推移したことに加え、消費税増税前の駆け込み需要の発生に伴い、タイヤ・ホイール販売（物品販売）が堅調に推移したことから増益となった

## 四半期純利益

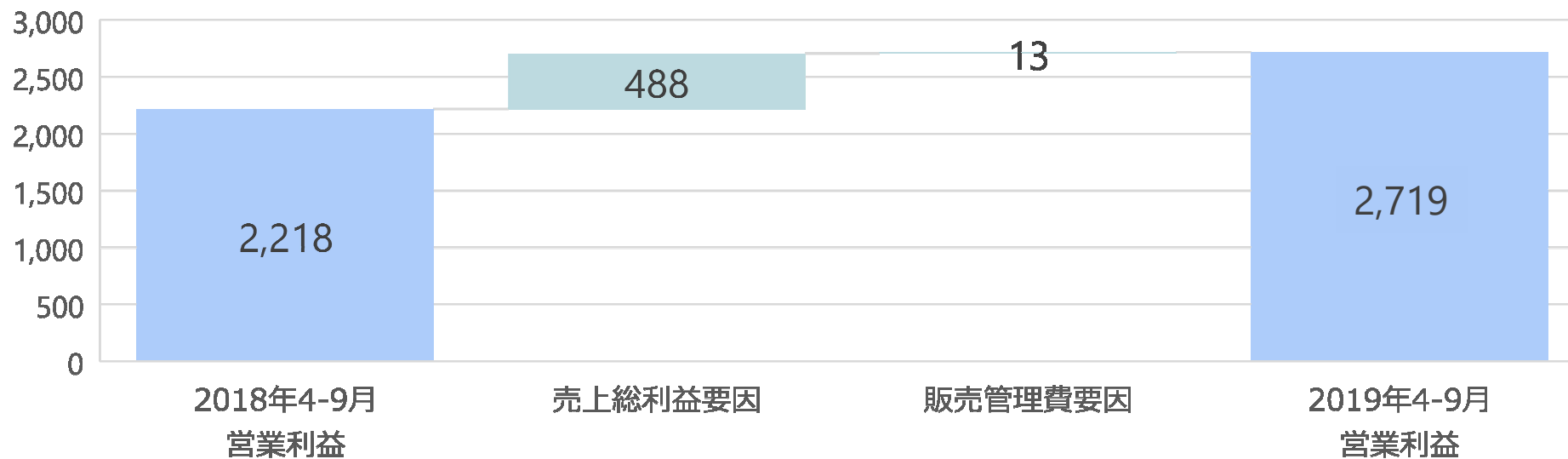
上記に加え、東京本社移転等に伴う固定資産売却益を計上したことから増益となった

# 2020年3月期 第2四半期 連結業績（2）

## ■ 営業利益増減分析

（単位：百万円）

売上総利益要因	+488	販売管理費要因	+13	営業利益増減	+501
プロトコーポレーション	+349	プロトコーポレーション	▲144	プロトコーポレーション	+205
オートウェイ	+233	オートウェイ	▲167	オートウェイ	+66
タイヤワールド館ベスト	+87	タイヤワールド館ベスト	+32	タイヤワールド館ベスト	+120
プロトリオス	+82	プロトリオス	▲10	プロトリオス	+71
キングスオート	▲72	キングスオート	+15	キングスオート	▲57
（バイクプロス）	▲248	（バイクプロス）	+257	（バイクプロス）	+9
		のれん償却額	+6	のれん償却額	+6
<p>主にプロトコーポレーション、オートウェイ、タイヤワールド館ベストの増収・収益性改善が増益に寄与。</p>		<p>主にバイクプロスの事業撤退による販売管理費減少が寄与</p>		<p>主にプロトコーポレーション、オートウェイ、タイヤワールド館ベストの増収、収益性改善が増益に寄与</p>	



# 2020年3月期 第2四半期 連結業績：セグメント別

売上高 (単位：百万円)	2018年4-9月		2019年4-9月			
	実績(a)	構成比	計画(b)	構成比	実績(c)	構成比
自動車関連情報	27,556	90.1%	26,484	89.7%	26,890	90.1%
広告関連	10,512	34.4%	10,586	35.9%	10,548	35.3%
情報・サービス	2,441	8.0%	2,468	8.4%	2,675	9.0%
物品販売	14,602	47.7%	13,429	45.5%	13,665	45.8%
生活関連情報	2,189	7.2%	2,142	7.3%	2,101	7.0%
不動産	97	0.3%	81	0.3%	89	0.3%
その他	748	2.4%	807	2.7%	763	2.6%
合計	30,591	100.0%	29,516	100.0%	29,845	100.0%

前期対比		計画対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
▲666	▲2.4%	405	+1.5%
35	+0.3%	▲38	▲0.4%
234	+9.6%	207	+8.4%
▲936	▲6.4%	236	+1.8%
▲87	▲4.0%	▲40	▲1.9%
▲8	▲8.4%	8	+10.0%
15	+2.1%	▲43	▲5.4%
▲746	▲2.4%	329	+1.1%

営業利益 (単位：百万円)	2018年4-9月		2019年4-9月			
	実績(a)	利益率	計画(b)	利益率	実績(c)	利益率
自動車関連情報	2,762	10.0%	2,908	11.0%	3,436	12.8%
生活関連情報	165	7.6%	75	3.5%	94	4.5%
不動産	97	99.3%	34	42.5%	89	99.9%
その他	23	3.2%	16	2.0%	31	4.1%
管理部門	▲831	-	▲929	-	▲931	-
合計	2,218	7.3%	2,105	7.1%	2,719	9.1%

前期対比		計画対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
673	+24.4%	527	+18.1%
▲71	▲43.0%	18	+24.9%
▲7	▲7.8%	54	+158.3%
7	+32.6%	15	+92.2%
▲100	-	▲2	-
501	+22.6%	614	+29.2%

## 自動車関連情報

減収増益：主に物品販売の減収による影響。タイヤ・ホイール販売、DataLine SalesGuide等の増収効果により増益

## 広告関連

主な増収要因は、MOTORGATE、グーピットが堅調に推移したため。

## 情報・サービス

主な増収要因は、DataLine SalesGuide及びプロトリオスのソフトウェア販売が堅調に推移したため。

## 物品販売

主な減収要因は、キングスオートの中古車輸出の減少と、バイクプロス（EC事業）の事業撤退による影響。  
計画対比では、消費税増税前の駆け込み需要の発生により、タイヤ・ホイール販売が堅調に推移。

## 生活関連情報

減収減益：主にリユース事業の事業譲渡（2019年2月）による影響。

# 2020年3月期 第2四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2019年3月期 期末		2020年3月期 第2四半期末		増減	
	実績(b)	構成比	実績(b)	構成比	(b)-(a)	%
流動資産	27,088	61.7%	31,054	65.0%	3,965	114.6%
固定資産	16,791	38.3%	16,711	35.0%	▲79	99.5%
流動負債	14,035	32.0%	15,400	32.2%	1,364	109.7%
固定負債	1,814	4.1%	1,684	3.5%	▲130	92.8%
純資産	28,029	63.9%	30,681	64.2%	2,652	109.5%
総資産	43,879	100.0%	47,766	100.0%	3,886	108.9%

(単位：百万円)	2019年3月期 期末		2020年3月期 第2四半期末		増減	
	実績(b)	構成比	実績(b)	構成比	(b)-(a)	%
現金及び預金	15,747	35.9%	19,180	40.2%	3,433	121.8%
有利子負債	6,800	15.5%	6,671	14.0%	▲128	98.1%
ネットキャッシュ	8,947	20.4%	12,509	26.2%	3,561	139.8%

**流動資産** 主な増加要因は、東京本社等の固定資産売却に伴い、現金及び預金が3,433百万円増加したため

**固定資産** 主な減少要因は、東京本社等の固定資産売却に伴う有形固定資産の減少によるもの

**流動負債** 主な増加要因は、支払手形及び買掛金が1,034百万円増加したため

**固定負債** 主な減少要因は、長期借入金が210百万円減少したため

# 2020年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	2018年4-9月	2019年4-9月	増減
	実績(a)	実績(b)	(b)-(a)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,053	2,694	641
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲783	901	1,685
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲2,001	▲664	1,336
現金及び現金同等物の期末残高	15,006	18,289	3,283

(単位：百万円)	2018年4-9月	2019年4-9月	増減
	実績(a)	実績(b)	(b)-(a)
投資額（有形・無形固定資産）	924	1,436	512
減価償却費	474	428	▲46
のれん償却額	220	213	▲6

## 営業活動による キャッシュ・フロー

主に税金等調整前四半期純利益4,606百万円、支出を伴わない減価償却費、のれん償却額の合計が641百万円発生したことなどから、2,694百万円の収入となった。

## 投資活動による キャッシュ・フロー

主に東京本社等の有形固定資産の売却による収入が3,565百万円発生したことなどから、901百万円の収入となった。

## 財務活動による キャッシュ・フロー

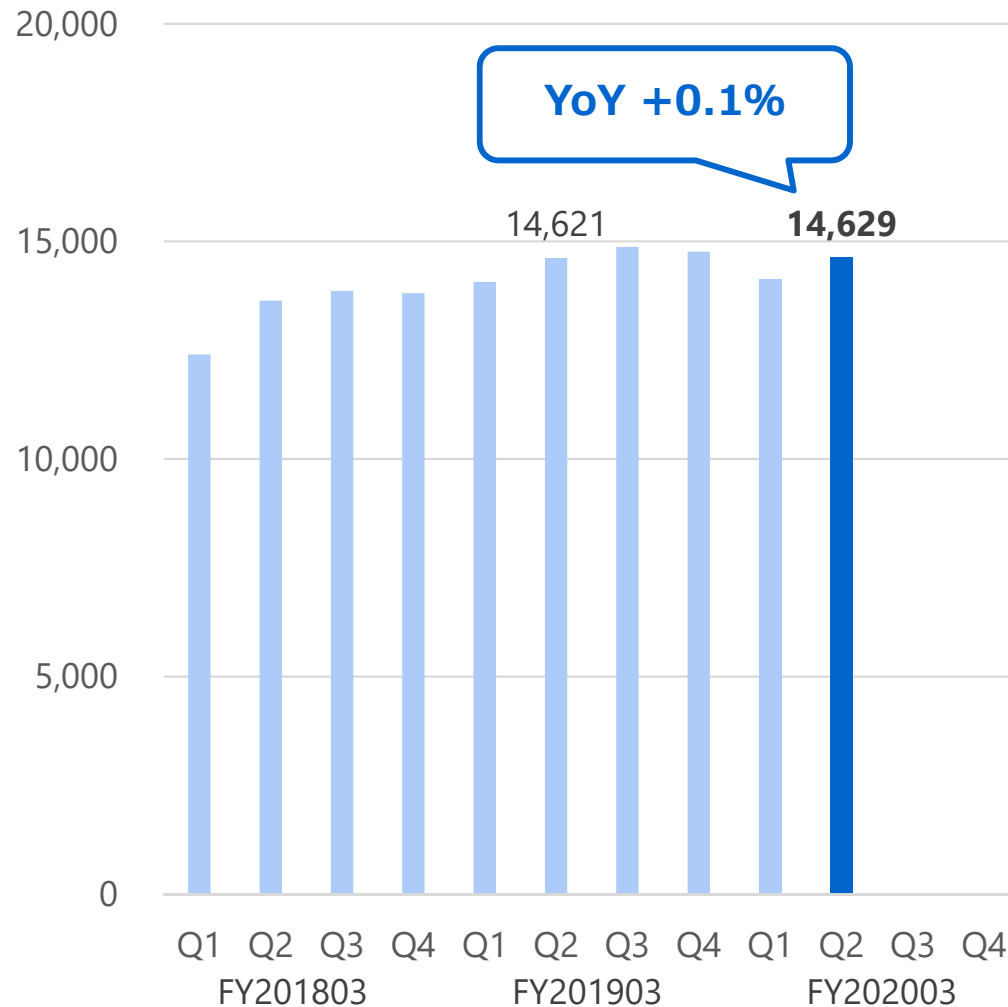
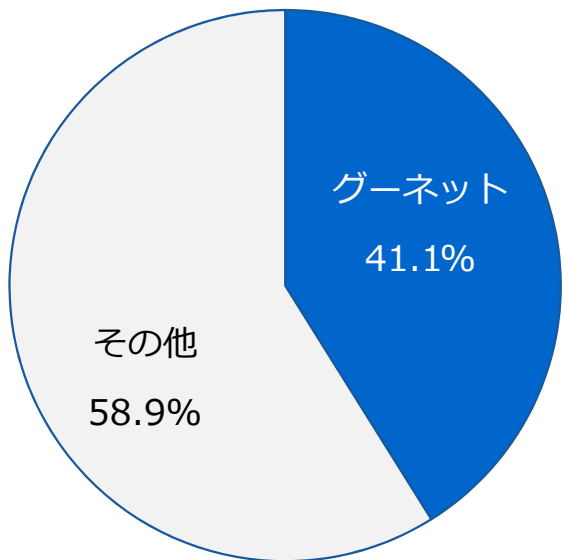
主に借入金の返済が128百万円、配当金の支払が501百万円発生したことなどから、664百万円の支出となった。

# 中古車領域（グーネット「MOTOR GATE」取引社数）

## グーネット（MOTOR GATE）取引社数

(単位：社)

対象マーケット数  
(35,594社)  
当社調べ



グーネット取引社数は、前年同期対比+0.1%

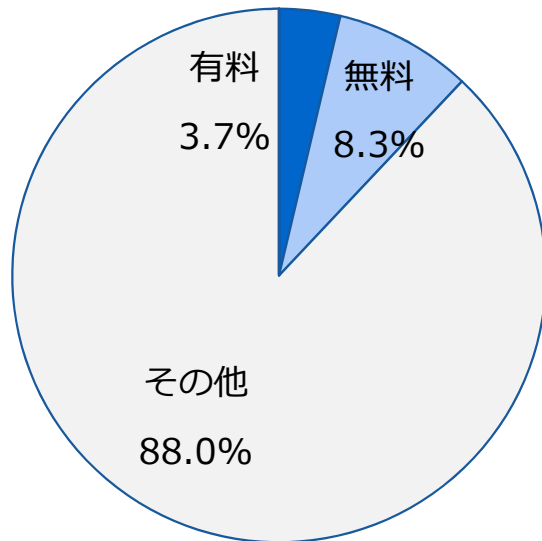


# 整備領域（ゲーピット有料掲載工場数）

## ゲーピット取引社数

対象マーケット数  
(91,788工場)

出所：国土交通省



(単位：工場)



ゲーピット有料掲載工場数は、前年同期対比+7.1%

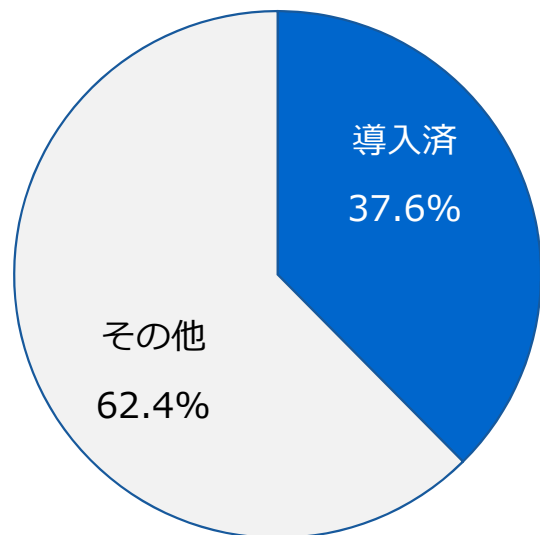
# 新車領域 (DataLine SalesGuide導入拠点数)

## DataLine SalesGuide導入拠点数

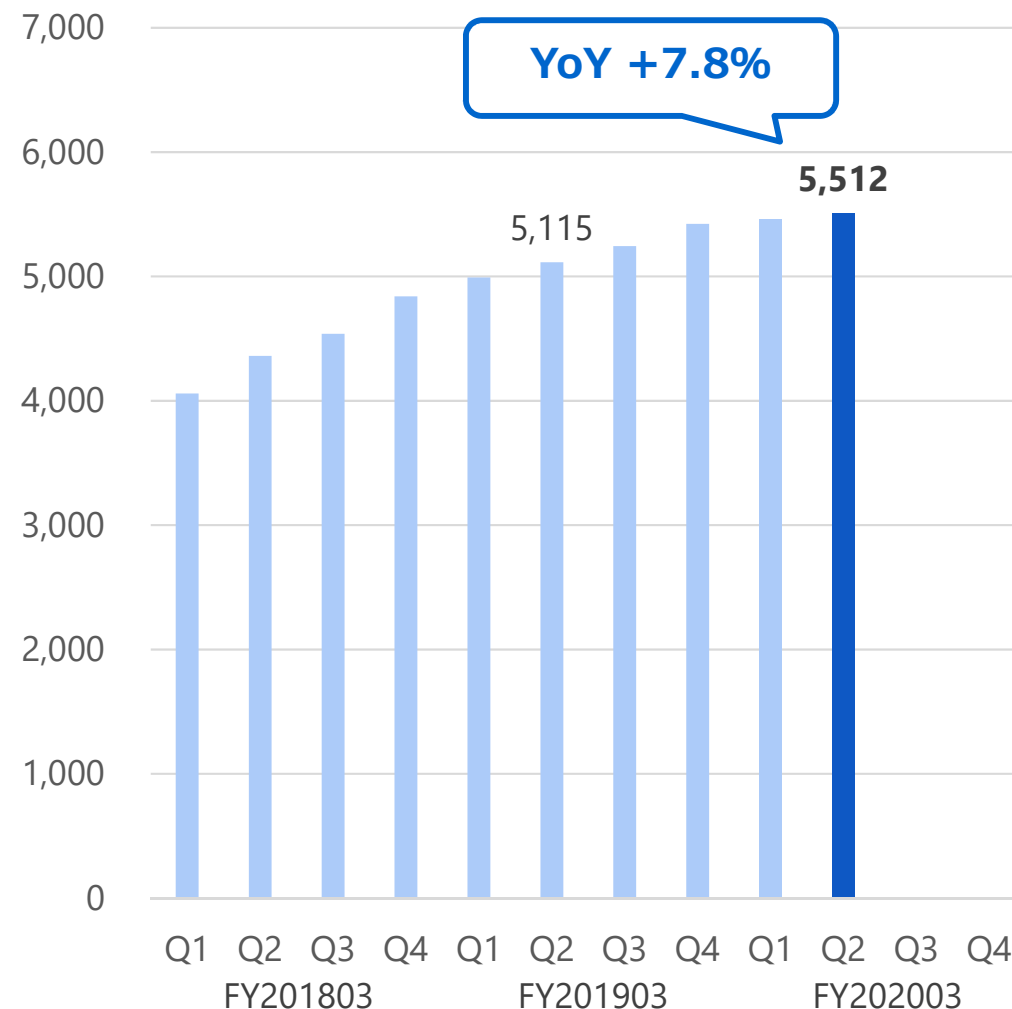
対象マーケット数  
(14,670拠点)

出所  
日本自動車販売協会連合会

DataLine  
SalesGuide



(単位：拠点)



DataLine SalesGuide導入拠点数は、前年同期対比+7.8%

# TOPICS

---

# 中長期的な成長戦略

## ■ 重点項目

- ・ 新車領域：データベースを活用したサービスを利益創出の柱にする
- ・ 中古車領域：製造原価・販管費の見直し（紙媒体・拠点の見直し）
- ・ 整備領域：① 広告事業の事業基盤拡大  
② 予約サービスの構築
- ・ AI領域への投資（既存事業の底上げ）
- ・ 新規事業への投資（新規サービスの創出）



成長市場へ経営資源を投入し、中長期的な企業価値の向上を図る

# 2020年3月期 上期の取組み

## 新車領域（データベースを活用したサービスを利益創出の柱にする）

### 新商品・サービスの開発

- ・ 2019年7月より、DataLine AI査定、DataLine CRMを商品化
- ・ 2019年9月より、AIチャットボット（新車販売集客支援サービス）を商品化
- ・ 新車ディーラー向け広告商品・サービスの開発
  - ・ WEB広告代理
- ・ DataLine SalesGuide オプション機能開発（開発中）
  - ・ 修理コスト予測機能
  - ・ 中古車版機能
  - ・ オプション機能（ローン、保険、メンテナンスパック等）

### 営業における取組み

- ・ 大手新車ディーラー向けの営業チームを設置
- ・ 全国エリアへの営業活動展開

### DataLine シリーズのパッケージ化



# 新車領域（商品・サービス）

## DataLine SalesGuide

新車ディーラーの商談ツール、  
乗換促進、営業プロセスの標準化・効率化を実現  
→商談(販売/下取)の生産性向上に寄与

## DataLine AI査定

新車ディーラーの査定システム、  
査定（下取）プロセスの標準化・効率化を実現  
→商談(下取)の生産性向上に寄与

## DataLine CRM

新車ディーラーの既存顧客情報を活用し、  
DataLine SalesGuide、  
DataLine AI査定への連携を実現  
→商談(販売/下取)の生産性向上に寄与  
→既存顧客の維持・防衛に寄与

## AI チャットボット

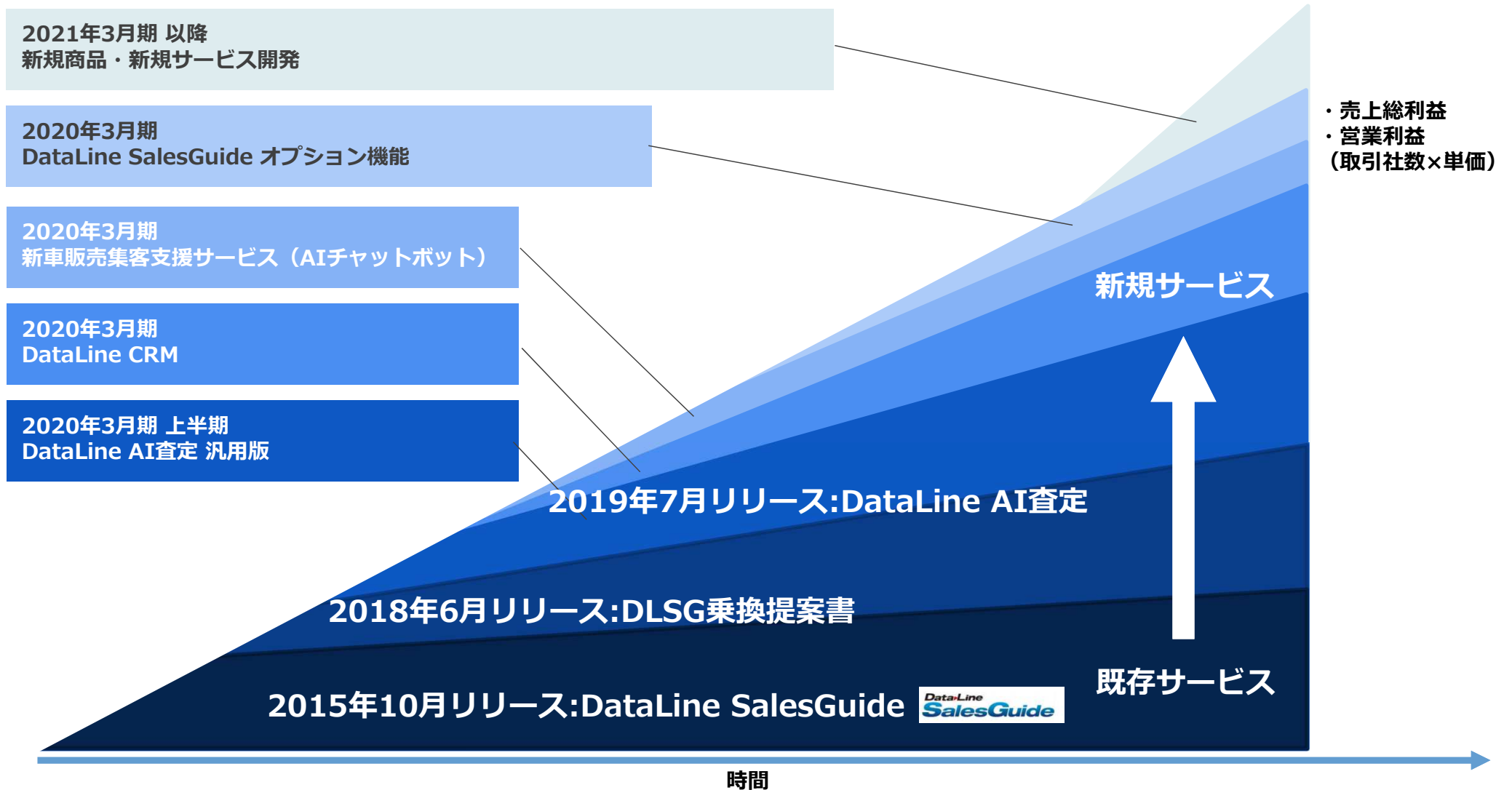
新車ディーラーのWEBサイトに実装し、  
来店予約や下取車の簡易査定を実現

→商談(販売/下取)の生産性向上に寄与  
→営業時間外の顧客対応、集客に寄与



自動車販売業界の働き方改革・生産性向上に資する商品・サービス開発を推進

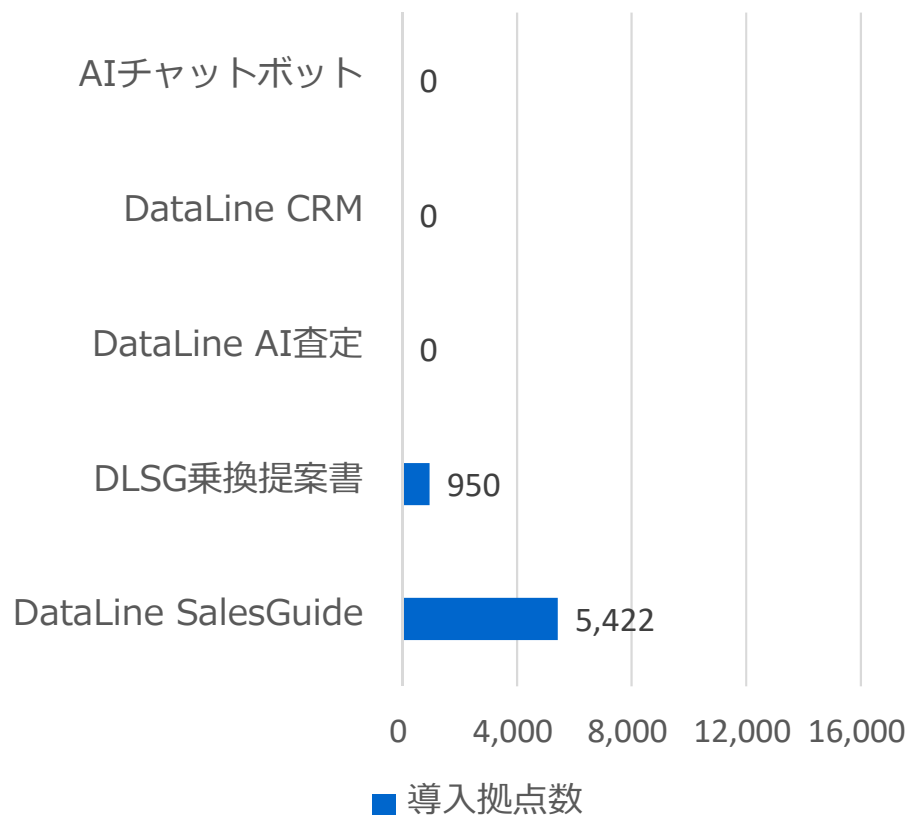
# 新車領域（成長戦略）



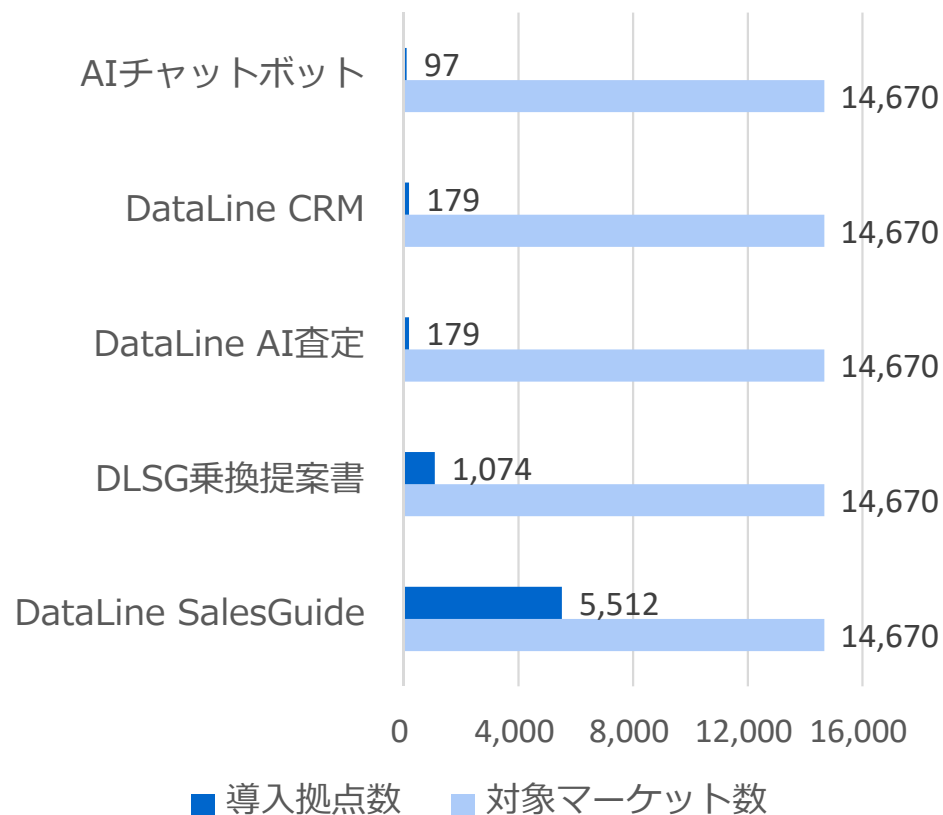
データベースを活用し、新車ディーラーの顧客接点強化、生産性向上に関する課題を解決する

# 新車領域（成長戦略）

## 2019年3月(実績)



## 2019年9月(実績)



**商品・サービスの導入拠点数拡大  
及び顧客単価向上を推進し、新車領域の成長を図る**

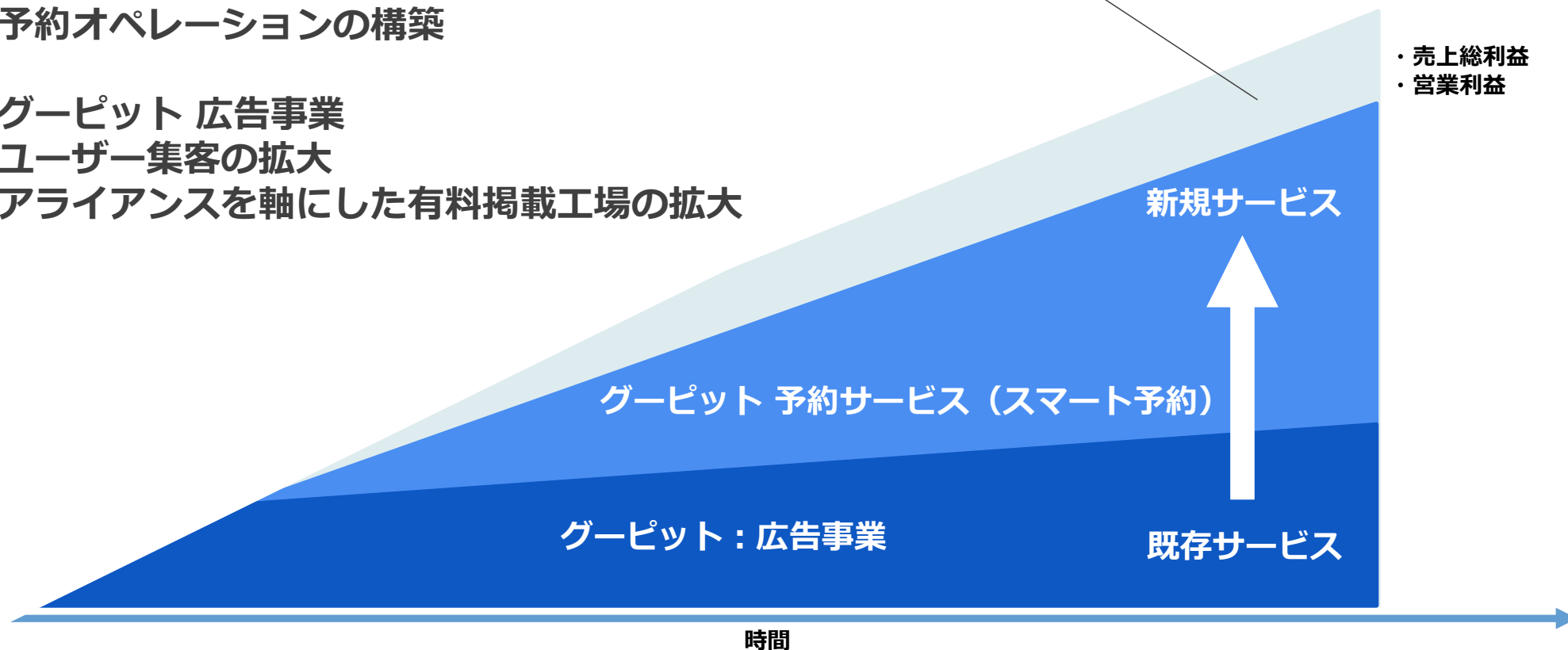


# 整備領域（成長戦略）

2021年3月期 以降  
新規商品・新規サービス開発（業務効率化支援・車体売買支援等）

## ■ 整備領域の取組み

- ・ グーピット 予約サービス（スマート予約）  
予約オペレーションの構築
- ・ グーピット 広告事業  
ユーザー集客の拡大  
アライアンスを軸にした有料掲載工場の拡大



グーピットの広告事業をベースに、予約サービスの成長を図る

# 整備領域（ゲーピット 予約サービス）

## ■ゲーピット スマート予約 サービスイン（2019年10月より送客課金開始）

パーツ取付け、整備修理の作業予約できる整備工場を検索するならゲーピット(GooPi)

作業実績 ▼ 検索キーワードを入力 検索 ☆お気に入り 店舗 メニュー

ゲーピット 車検・オイル交換・キズ・ヘコミ クルマのことならゲーピット(GooPi) | パーツ持込み取付 | 整備・修理・塗装・板金 | オイル交換 | 車検・点検 | 作業実績

全国TOP > ゲーピットでスマート予約

スケジュール・予算に見合ったお店が探せる  
**ゲーピットでスマート予約**

地図から店舗を探す

作業内容から予約ができます！例えば、

- ドラレコ取付
- バッテリー交換
- オイル交換
- 車検

その他が修理・塗装・板金など！

スマート予約は 3つのポイント とっても便利！

**1** 価格表示がされているから、あんしんしてお店を探せる！

クルマの修理で価格って気になりますよね。クルマの種類や修理の程度によって価格は変わるので、見積りをもらわないと価格はわからないものです。スマート予約では作業内容に合わせた価格提示をしているので、あんしん・見積り依頼の手間がなくスマートにお店を探せます！

### 整備工場の予約サービス

- ・パーツ持込み取付（タイヤ・ドライブレコーダー等）
- ・整備・修理・板金・塗装
- ・オイル交換
- ・車検・点検



カーユーザーの困りごとを  
近所の整備工場とのマッチングにより解決

ゲーピット有料加盟工場を対象として、予約サービスの提供を開始  
ユーザーと整備工場のマッチングを推進

# 2020年3月期 通期業績予想

---

# 2020年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)	2019年3月期		2020年3月期			
	実績 (a)	売上比	期初計画 (b)	売上比	修正計画 (c)	売上比
売上高	62,251	100.0%	62,431	100.0%	62,431	100.0%
売上総利益	23,832	38.3%	24,689	39.5%	24,689	39.5%
EBITDA	5,920	9.5%	6,255	10.0%	6,255	10.0%
営業利益	4,565	7.3%	4,916	7.9%	4,916	7.9%
経常利益	5,004	8.0%	4,942	7.9%	4,942	7.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,159	5.1%	3,274	5.2%	4,512	7.2%
1株当たり当期純利益 (円)	78.75	-	81.61	-	112.41	-

※2020年3月期の計画値は、2019年7月31日公表の計画値であります。

※EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

※1株当たり当期純利益については、2019年7月1日を効力発生日とする株式分割（1:2）の影響を考慮しております。

前期対比		期初計画対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
179	+0.3%	0	0.0%
856	+3.6%	0	0.0%
335	+5.7%	0	0.0%
350	+7.7%	0	0.0%
▲62	▲1.2%	0	0.0%
1,353	+42.8%	1,238	+37.8%
33.66	+42.7%	30.80	+37.7%

(単位：百万円)	2019年3月期		2020年3月期			
	実績 (a)	売上比	期初計画 (b)	売上比	修正計画 (c)	売上比
販売費及び一般管理費	19,267	31.0%	19,773	31.7%	19,773	31.7%
人件費	7,871	12.6%	8,176	13.1%	8,176	13.1%
広告宣伝費	4,486	7.2%	4,660	7.5%	4,660	7.5%
その他	6,909	11.1%	6,935	11.1%	6,935	11.1%

前期対比		期初計画対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
505	+2.6%	0	0.0%
305	+3.9%	0	0.0%
173	+3.9%	0	0.0%
26	+0.4%	0	0.0%

# 2020年3月期 連結業績予想：セグメント別

売上高 (単位：百万円)	2019年3月期		2020年3月期			
	実績 (a)	構成比	期初計画 (b)	構成比	修正計画 (c)	構成比
自動車関連情報	56,167	90.2%	56,293	90.2%	56,293	90.2%
広告関連	21,278	34.2%	21,639	34.7%	21,639	34.7%
情報・サービス	5,041	8.1%	5,074	8.1%	5,074	8.1%
物品販売	29,847	47.9%	29,579	47.4%	29,579	47.4%
生活関連情報	4,335	7.0%	4,331	6.9%	4,331	6.9%
不動産	195	0.3%	137	0.2%	137	0.2%
その他	1,553	2.5%	1,668	2.7%	1,668	2.7%
合計	62,251	100.0%	62,431	100.0%	62,431	100.0%

前期対比		期初計画対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
125	+0.2%	0	0.0%
361	+1.7%	0	0.0%
32	+0.7%	0	0.0%
▲268	▲0.9%	0	0.0%
▲3	▲0.1%	0	0.0%
▲57	▲29.5%	0	0.0%
115	+7.4%	0	0.0%
179	+0.3%	0	0.0%

営業利益 (単位：百万円)	2019年3月期		2020年3月期			
	実績 (a)	利益率	期初計画 (b)	利益率	修正計画 (c)	利益率
自動車関連情報	5,758	10.3%	6,524	11.6%	6,524	11.6%
生活関連情報	249	5.8%	138	3.2%	138	3.2%
不動産	193	99.0%	34	24.9%	34	24.9%
その他	57	3.7%	36	2.2%	36	2.2%
管理部門	▲1,693	-	▲1,817	-	▲1,817	-
合計	4,565	7.3%	4,916	7.9%	4,916	7.9%

前期対比		期初計画対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
765	+13.3%	0	0.0%
▲111	▲44.6%	0	0.0%
▲158	▲82.2%	0	0.0%
▲21	▲36.8%	0	0.0%
▲123	-	0	0.0%
350	+7.7%	0	0.0%

# Appendix

---

# 中期3ヶ年事業計画（経営指標）

## ■ 重要な経営指標について

売上総利益・営業利益の成長とともに、ROE・EPSを重要な経営指標と位置付けています。

## ■ 経営指標

	2016年3月期 (実績)	2019年3月期 (実績)	2022年3月期 (計画)
ROE	▲1.5%	11.7%	12.0%以上
EPS (1株当たり当期純利益)	▲9.64円	78.75円	100.00円
売上総利益※	212億円	238億円	CAGR (年平均成長率) 6.4%
営業利益	40.7億円	45.6億円	CAGR (年平均成長率) 9.4%

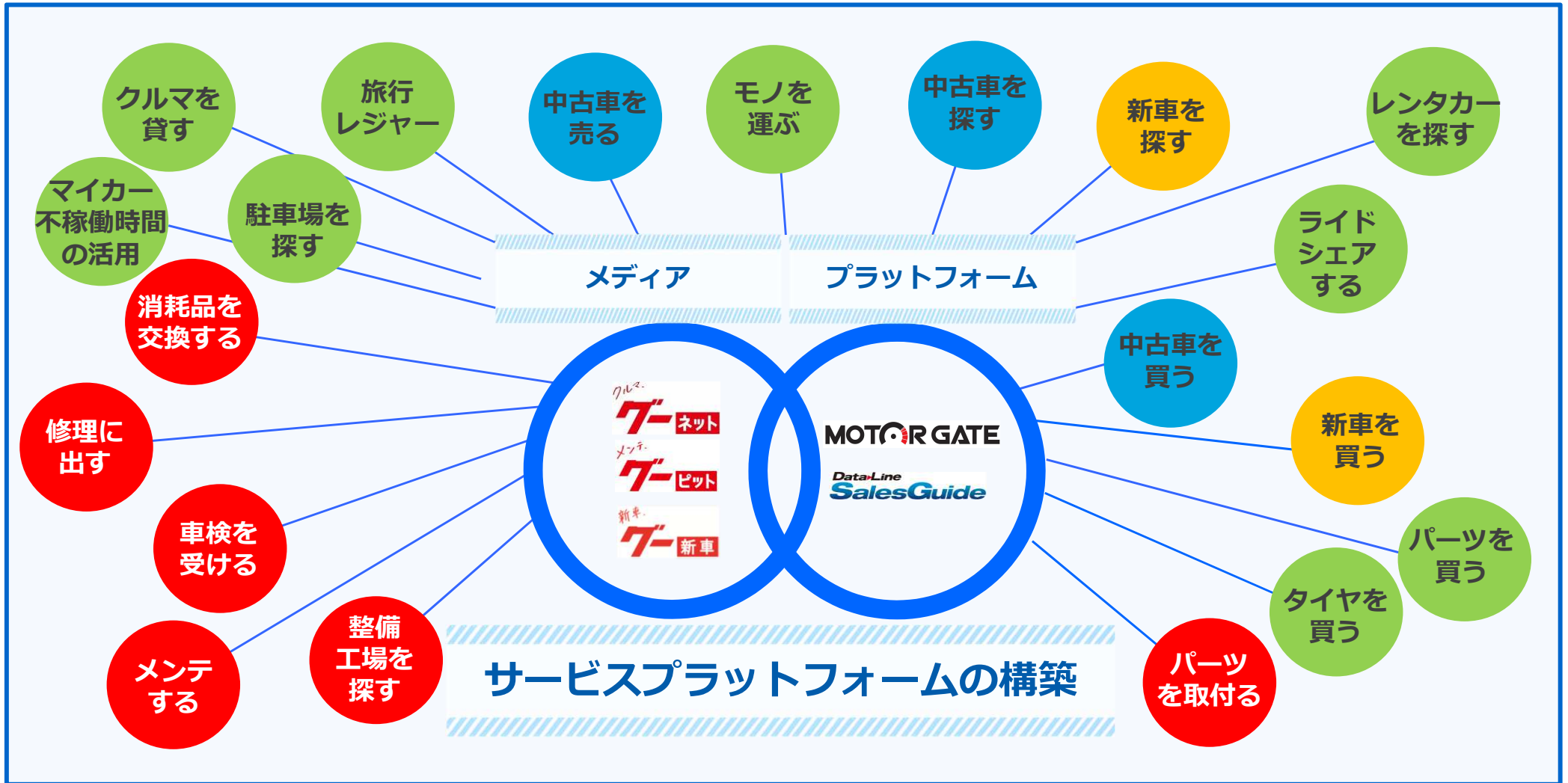
※ 将来的な「収益認識に関する会計基準」の適用を見込み、重要な経営指標について従来の売上高から売上総利益に変更しております。

※ EPS(1株当たり当期純利益)については、2019年7月1日を効力発生日とする株式分割（1:2）の影響を考慮しております。

中期3ヶ年計画において、ROE12%以上の達成を目指す

# ビジョン「サービスプラットフォームの構築」

## カーライフのトータルサポートの実現

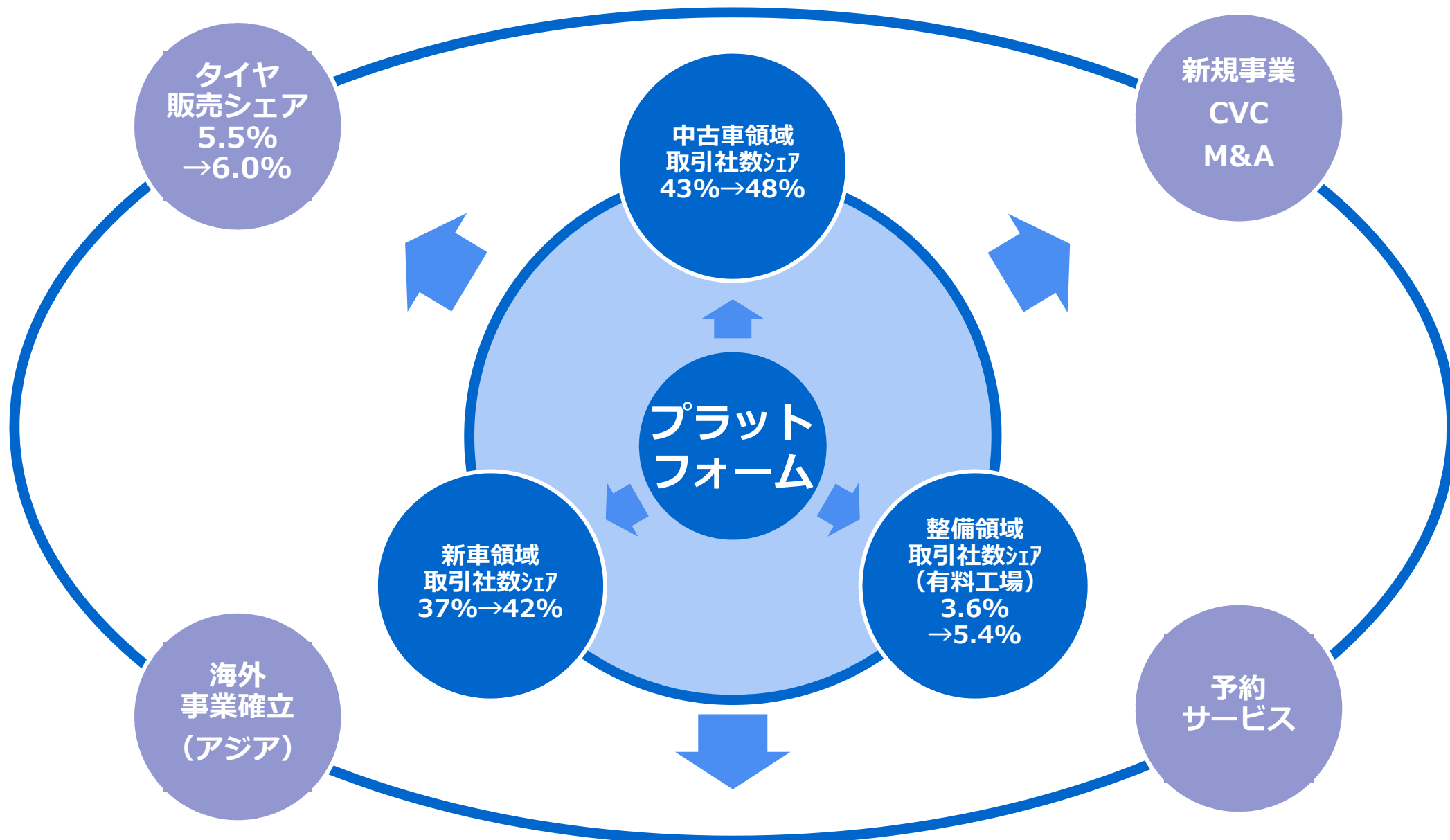


自動車関連情報サービス事業 国内No.1になる!!  
(メディアからサービスプラットフォームへ)



# ビジョン「サービスプラットフォームの構築」

## Goo Life Time Value (成長戦略)



# 会社概要

社名	株式会社プロトコーポレーション																																															
創業	1977年10月1日																																															
設立	1979年6月1日																																															
資本金	1,849百万円（2019年9月30日現在）																																															
発行済株式総数	41,925,300株（2019年9月30日現在）																																															
本社	〒460-0006 名古屋市中区葵一丁目23番14号 〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目18番1号（2019年11月1日より）																																															
支社	札幌、仙台、高崎、長野、浜松、名古屋、金沢、大阪、広島、松山、福岡、熊本 (全国56拠点)																																															
事業年度末	3月31日																																															
社員数	連結：1,482名（2019年9月30日現在） 単体：589名（2019年9月30日現在）																																															
上場取引所	東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部																																															
連結子会社	<table><tr><td>1.株式会社オートウェイ</td><td>【2013年 4月子会社化】</td><td>(議決権所有割合：直接 100%)</td></tr><tr><td>2.株式会社タイヤワールド館ベスト</td><td>【2015年 4月子会社化】</td><td>(議決権所有割合：直接 100%)</td></tr><tr><td>3.株式会社キングスオート</td><td>【2012年 4月子会社化】</td><td>(議決権所有割合：直接 100%)</td></tr><tr><td>4.株式会社プロトリオス</td><td>【2002年10月子会社化】</td><td>(議決権所有割合：直接 100%)</td></tr><tr><td>5.株式会社カークレド</td><td>【2012年 2月設立】</td><td>(議決権所有割合：直接 100%)</td></tr><tr><td>6.株式会社カーブリックス</td><td>【2017年 5月設立】</td><td>(議決権所有割合：間接 66%)</td></tr><tr><td>7.株式会社プロトメディカルケア</td><td>【2009年10月子会社化】</td><td>(議決権所有割合：直接 100%)</td></tr><tr><td>8.株式会社丸富士</td><td>【2016年 1月子会社化】</td><td>(議決権所有割合：間接 100%)</td></tr><tr><td>9.株式会社シルバーはあと</td><td>【2016年 1月子会社化】</td><td>(議決権所有割合：間接 100%)</td></tr><tr><td>10.株式会社プロトソリューション</td><td>【2007年 4月設立】</td><td>(議決権所有割合：直接 100%)</td></tr><tr><td>11.株式会社沖縄コールスタッフサービス</td><td>【2017年10月子会社化】</td><td>(議決権所有割合：間接 100%)</td></tr><tr><td>12.株式会社プロトベンチャーズ</td><td>【2019年 4月設立】</td><td>(議決権所有割合：直接 100%)</td></tr><tr><td>13.PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd. (清算手続き中)</td><td>【2011年 9月子会社化】</td><td>(議決権所有割合：直接 100%)</td></tr><tr><td>14.台湾寶路多股份有限公司</td><td>【2011年12月設立】</td><td>(議決権所有割合：直接 100%)</td></tr><tr><td>15.CAR CREDO (Thailand) Co., Ltd. (2019年10月31日現在)</td><td>【2018年12月設立】</td><td>(議決権所有割合：間接 49%)</td></tr></table>			1.株式会社オートウェイ	【2013年 4月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)	2.株式会社タイヤワールド館ベスト	【2015年 4月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)	3.株式会社キングスオート	【2012年 4月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)	4.株式会社プロトリオス	【2002年10月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)	5.株式会社カークレド	【2012年 2月設立】	(議決権所有割合：直接 100%)	6.株式会社カーブリックス	【2017年 5月設立】	(議決権所有割合：間接 66%)	7.株式会社プロトメディカルケア	【2009年10月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)	8.株式会社丸富士	【2016年 1月子会社化】	(議決権所有割合：間接 100%)	9.株式会社シルバーはあと	【2016年 1月子会社化】	(議決権所有割合：間接 100%)	10.株式会社プロトソリューション	【2007年 4月設立】	(議決権所有割合：直接 100%)	11.株式会社沖縄コールスタッフサービス	【2017年10月子会社化】	(議決権所有割合：間接 100%)	12.株式会社プロトベンチャーズ	【2019年 4月設立】	(議決権所有割合：直接 100%)	13.PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd. (清算手続き中)	【2011年 9月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)	14.台湾寶路多股份有限公司	【2011年12月設立】	(議決権所有割合：直接 100%)	15.CAR CREDO (Thailand) Co., Ltd. (2019年10月31日現在)	【2018年12月設立】	(議決権所有割合：間接 49%)
1.株式会社オートウェイ	【2013年 4月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)																																														
2.株式会社タイヤワールド館ベスト	【2015年 4月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)																																														
3.株式会社キングスオート	【2012年 4月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)																																														
4.株式会社プロトリオス	【2002年10月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)																																														
5.株式会社カークレド	【2012年 2月設立】	(議決権所有割合：直接 100%)																																														
6.株式会社カーブリックス	【2017年 5月設立】	(議決権所有割合：間接 66%)																																														
7.株式会社プロトメディカルケア	【2009年10月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)																																														
8.株式会社丸富士	【2016年 1月子会社化】	(議決権所有割合：間接 100%)																																														
9.株式会社シルバーはあと	【2016年 1月子会社化】	(議決権所有割合：間接 100%)																																														
10.株式会社プロトソリューション	【2007年 4月設立】	(議決権所有割合：直接 100%)																																														
11.株式会社沖縄コールスタッフサービス	【2017年10月子会社化】	(議決権所有割合：間接 100%)																																														
12.株式会社プロトベンチャーズ	【2019年 4月設立】	(議決権所有割合：直接 100%)																																														
13.PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd. (清算手続き中)	【2011年 9月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)																																														
14.台湾寶路多股份有限公司	【2011年12月設立】	(議決権所有割合：直接 100%)																																														
15.CAR CREDO (Thailand) Co., Ltd. (2019年10月31日現在)	【2018年12月設立】	(議決権所有割合：間接 49%)																																														

# 会社概要

## 連結主要データ

発行済株式総数(百万株)	※2019年9月30日現在	41.9
時価総額(億円)	※2019年9月末	491.3
1株当たり年間配当(円)	※2020年3月期予想	27.5
1株当たり当期純利益(円)	※2020年3月期予想	112.41
1株当たり純資産(円)	※2019年3月期実績	697.84
ROE(%)当期純利益ベース	※2019年3月期実績	11.7
ROA(%)経常利益ベース	※2019年3月期実績	11.3
自己資本比率(%)	※2019年3月期実績	63.8
潜在株式数		-
外国法人等の株式保有比率(%)	※2019年9月末	27.52

## 大株主(上位10名)

	(千株)
1) 株式会社夢現	13,614 (32.47%)
2) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,754 (6.57%)
3) JPLLC CLIENT SAFEKEEPING ACCOUNT	2,649 (6.31%)
4) 株式会社プロトコーポレーション	1,763 (4.20%)
5) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,555 (3.71%)
6) JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,137 (2.71%)
7) CLEARSTREAM BANKING S.A	999 (2.38%)
8) BNYM NON-TREATY DTT	965 (2.30%)
9) 横山博一	887 (2.11%)
10) 横山順弘	730 (1.74%)

※ DPS, EPS, BPSについては、2019年7月1日を効力発生日とする株式分割(1:2)の影響を考慮しております。

(2019年9月30日現在)

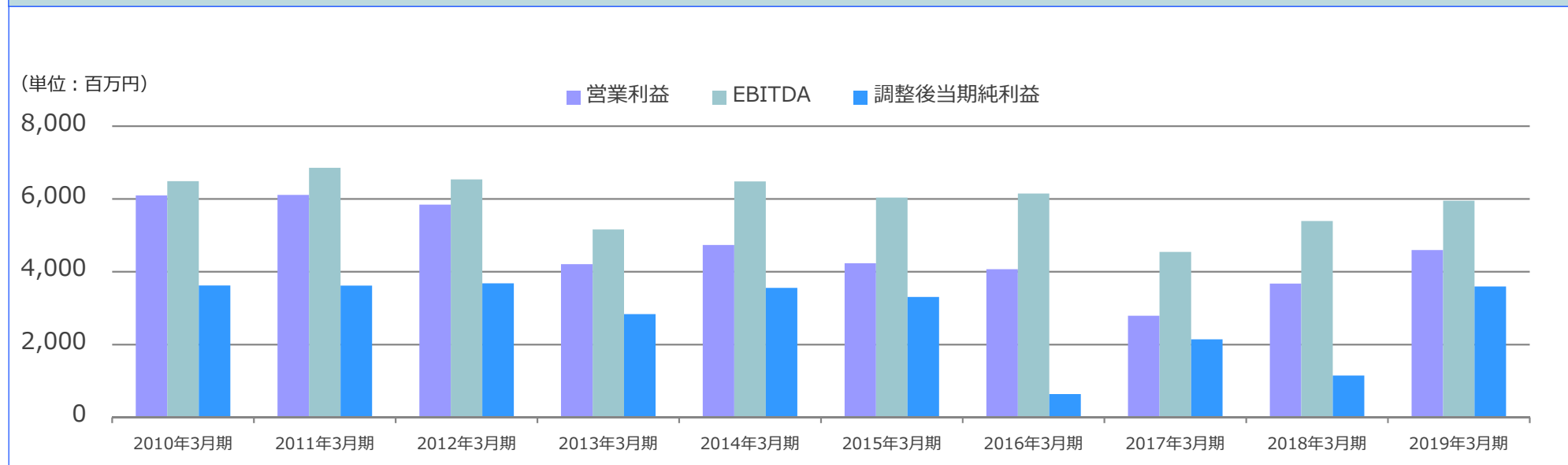
# 連結業績実績（10年推移）

(単位：百万円)	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期
売上高	25,682	28,779	30,582	38,287	54,761	48,602	54,297	56,717	62,111	62,251
営業利益	6,098	6,111	5,846	4,209	4,735	4,233	4,071	2,795	3,674	4,565
当期純利益	3,529	3,197	3,275	2,290	2,627	2,381	▲ 390	1,506	519	3,159
EBITDA * 1	6,490	6,856	6,540	5,161	6,483	6,039	6,149	4,547	5,396	5,920
調整後当期純利益 * 2	3,621	3,620	3,680	2,836	3,555	3,308	641	2,145	1,151	3,596
減価償却費	299	322	288	404	819	879	1,046	1,113	1,089	916
のれん償却額	91	422	405	546	928	926	1,032	638	632	437

\*1 EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

\*2 調整後当期純利益は、「当期純利益+のれん償却額」にて算出しております。

## 営業利益・EBITDA・調整後当期純利益の年次推移



# 連結業績 セグメント別（10年推移）

セグメント別売上高 (単位：百万円)	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期
自動車関連情報	22,858	25,566	26,704	33,687	50,138	44,056	49,486	51,025	56,100	56,167
広告関連	19,511	20,558	20,579	21,163	21,412	21,593	21,006	21,231	21,618	21,278
情報・サービス	2,818	3,083	3,312	3,749	4,464	4,546	5,087	4,893	5,053	5,041
物品販売	528	1,923	2,813	8,774	24,262	17,915	23,392	24,899	29,429	29,847
生活関連情報	2,286	2,616	3,470	3,837	3,541	3,393	3,466	4,236	4,370	4,335
不動産	205	181	166	163	167	164	162	187	213	195
その他	332	415	240	597	913	988	1,182	1,268	1,426	1,553
合計	25,682	28,779	30,582	38,287	54,761	48,602	54,297	56,717	62,111	62,251

セグメント別営業利益 (単位：百万円)	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期
自動車関連情報	7,590	7,281	7,272	5,916	6,217	5,624	5,277	3,939	4,933	5,758
生活関連情報	162	301	228	131	248	338	307	478	370	249
不動産	105	104	83	85	69	96	109	147	170	193
その他	▲ 35	▲ 91	▲ 149	▲ 323	▲ 140	▲ 94	▲ 66	▲ 136	▲ 71	57
管理部門	▲ 1,725	▲ 1,484	▲ 1,589	▲ 1,599	▲ 1,659	▲ 1,732	▲ 1,554	▲ 1,633	▲ 1,728	▲ 1,693
合計	6,098	6,111	5,846	4,209	4,735	4,233	4,071	2,795	3,674	4,565

# セグメント詳細

## セグメント詳細

### ■自動車関連情報

#### ■広告関連



**中古車** グーネット等のデータ登録料（MOTOR GATE利用料,グー買取等）

**中古車** 広告掲載料（WEB・情報誌等）、情報誌本売上

**整備** グーピットへのデータ登録料

#### ■情報・サービス



**新車** プロトコーポレーション（DataLine SalesGuide、DataLine等）

**中古車** プロトコーポレーション（グー鑑定、グー保証）

**整備** プロトコーポレーション（グー車検）

**整備** プロトリオス（整備・钣金システム販売）

#### ■物品販売



オートウェイ・タイヤワールド館ベスト（EC:タイヤ・ホイール）

キングスオート（中古車輸出）

プロトコーポレーション（EC:物品販売）

### ■生活関連情報



プロトメディカルケア（広告売上・福祉用具レンタル売上等）

プロトコーポレーション（カルチャー情報等）

### ■不動産

プロトコーポレーション（不動産賃貸収入）

### ■その他

プロトソリューション（BPO事業、ソフトウェア開発等）

沖縄コールスタッフサービス（人材派遣等）

オートウェイ（太陽光発電）

プロトコーポレーション（農業事業）

プロトベンチャーズ（投資事業）

### ■広告関連

主にMOTOR GATE月額利用料とグーネットによる広告収入が占める。

### ■情報・サービス

主に新車ディーラー向けのDataLine月額利用料、整備钣金システム売上が占める。

### ■物品販売

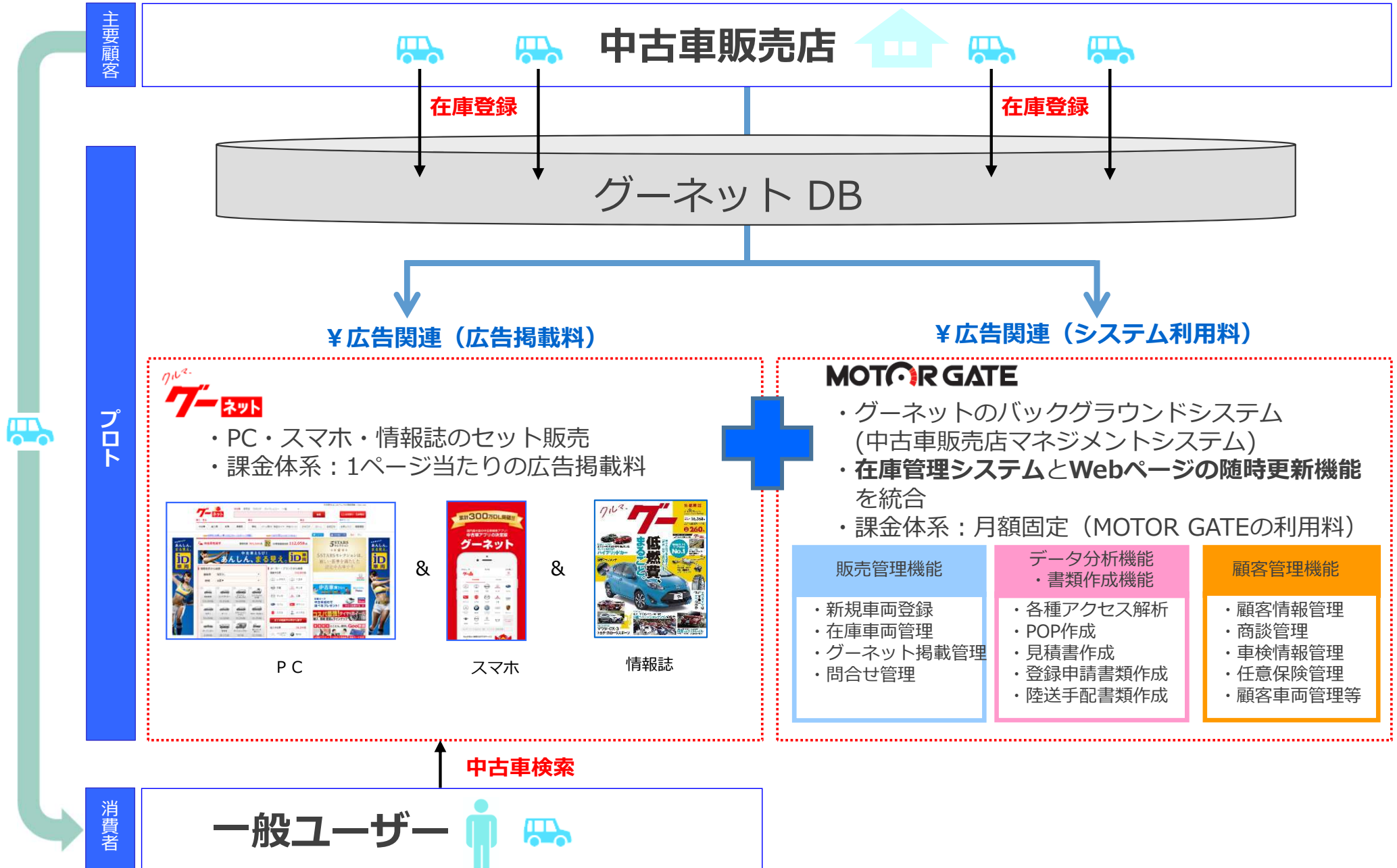
主にタイヤ・ホイールのEC販売、中古車輸出が占める。

主に介護・福祉関連の広告収入と福祉用具レンタル売上が占める

主に自社ビルの非稼働フロアの賃貸収入が占める

主にBPO事業の売上が占める

# 中古車領域：グーネット・MOTOR GATEのビジネスモデル





# 中古車領域：グー鑑定ビジネスモデル

主要顧客



中古車販売店



↓  
¥ 鑑定料

- ・ 課金体系：1台あたり課金
- ・ 2008年10月より全国展開開始



## グー鑑定の概要と図解（一例）



## グー鑑定 3つのポイント

- ① 第三者機関の日本自動車鑑定協会（JAAA）の基準に基づき中古車を鑑定
- ② 外装・内装・機関・修復歴の4項目について鑑定を実施
- ③ 鑑定した外装、内装、機関、修復歴のそれぞれについて評価を定め、情報を開示



プロト（検査子会社）カクレレド

↑ 中古車検索

消費者

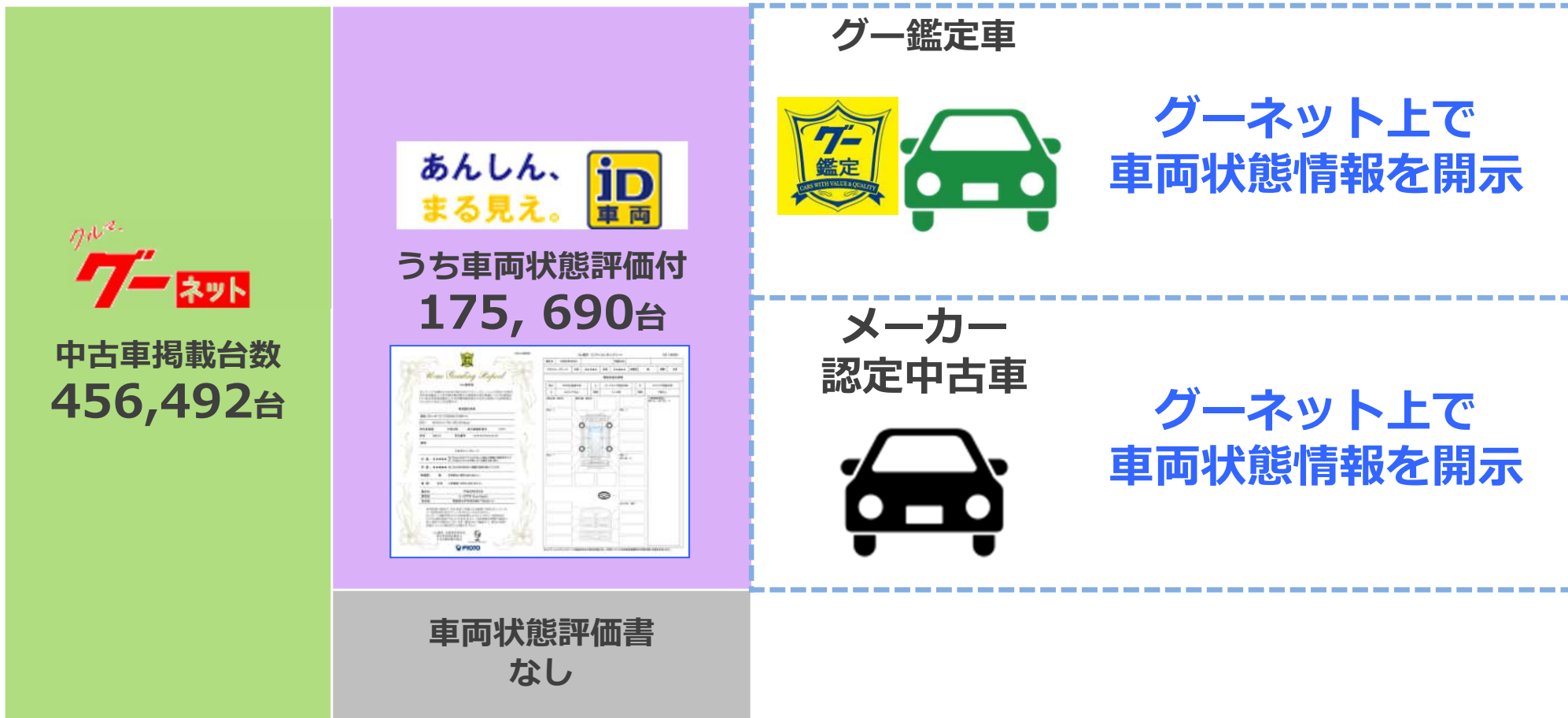
一般ユーザー





# 中古車領域：中古車の車両状態情報の開示

## ■ 競合メディアとの差別化：車両状態情報開示を通じた成約率の向上



※参考 競合メディアの車両状態情報開示 50,262台

(2019年10月18日 時点)

ユーザーが抱く中古車への不安を払拭し  
より安心して中古車を購入できる環境をつくる

# 新車領域 : DataLine SalesGuide

主要顧客



新車ディーラー



¥サービス利用料

## DataLine SalesGuide

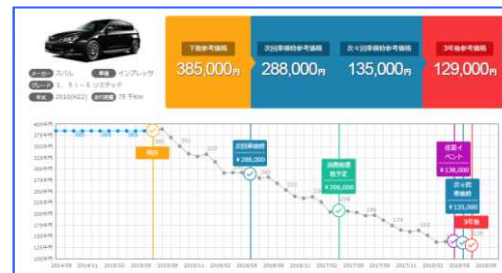
- ・課金体系：月額固定
- ・ユーザーとの商談の際に現在価値と将来価値の概算を提示し、乗換促進を実現する



### コスト比較提案機能



### 将来価格予測グラフ機能



### 乗り換えPOP機能



### 乗り換えシミュレーション機能



プロト

消費者

自動車ユーザー



---

※ 本資料に記載の金額は、全て百万円未満を切り捨てて表示しております。

◆将来予測について

本資料で提供されているIR情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。

これら歴史的事実以外の情報は、当社グループが属する業界の競争、市場、諸制度に係るリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び推測に基づく見込みは、将来における実際の成果及び業績とは異なる場合があります。ご承知おきください。

◆本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

株式会社プロトコーポレーション 経営戦略室 高林

Tel : 052-934-1519

Mail: 4298ir@proto-g.co.jp